

	評価項目	自己評価点	自己点検・自己評価総括
1	教育理念・目的は、定められているか	3.8	本校は、開学当初より校訓、教育理念、教育目的を定め、学生便覧にも記載しており、育成人材像も医療・福祉のスペシャリストと明確に示している。また、三つのポリシーについても確立している。周知活動については、入学式、卒業式、オリエンテーション、保護者会などで周知はしているが、周知方法の拡張を検討していく。
2	教育活動	3.2	カリキュラムについては教育目的に沿った国家試験に合格できる適切な構成になっている。コロナ禍によるオンライン授業を組み込みながら対面授業を重視した講義・実習を行っている。卒業レベルに到達しない学生に対しては、放課後等の時間を使い補習に取り組み、学力の向上に努めている。
3	学修成果	3.6	学修成果としての国家試験合格率は、ほぼ100%を達成している。国家試験対策については、各科独自の対策を行っており、一定の成果が出ていると考えている。一方、近年の学生全般にみられる学力の低下もあり、卒業要件に達しない学生も一定数いることも事実である。低学年からの基礎学力の向上や職業への意識付け、生活指導が必要な学生への対応など検討課題も多い。
4	学生支援	3.4	本校は担任制を継続しており、学生の就学状況等に関し、適宜個人面談、保護者面談を行い支援しているが、今後問題を抱える学生が増えることを想定し、学生支援体制を強化しなければならない。就職については、希望する学生は就職できるため就職先の開拓は必要ないが、就職説明会への参加を促し、就職説明会の開催を継続していく。
5	教育環境	3.6	施設・設備、備品、器具等は関係法令に適合しており、順次新しい備品の更新も行っている。校内の実習においては、十分な教育環境のもと適切に行われている。また、臨床実習が必要な科では、校内付属治療院、校外の治療院、大学病院、高齢・障害者施設、歯科医院と豊富な実習先で適切な実習が行われている。
6	学生の受け入れと募集	3.9	高校訪問、ガイダンス等の募集活動を行っているが、オープンキャンパスの参加者の増加にはなかなか繋がらないのが現状である。今後SNS等を用いた職業の魅力、教育内容、学校生活の紹介等の情報発信に努める。また、社会人の受け入れを増やすために診療所、治療院等への募集活動も増やしていく。
7	社会貢献・地域貢献	2.4	今年度は、コロナ禍の影響でボランティア活動は制限されたが、清掃活動、献血等は例年通りに行った。今年度以降、コロナ禍で中止していた、お灸教室、高校への救護ボランティアや運動クラブへの運動指導などを行っていききたい。
8	法令等の順守	3.1	専修学校設置基準及び関係法令は遵守している。また、就業規則にハラスメント防止規定、個人情報保護を含む必要な諸規定を整備し運用している。就業規則等の見直しは、社会保険労務士、弁護士と協議を行い見直しに取り組んでいる。
9	財務	4.0	今期の収入は、前年度と比べほぼ横ばいとなっているが、少子化等の影響により学生の募集に苦戦している一方、経費は、昨今の経済情勢により光熱費が大幅に増加している。しかし、借入金などはなく、現在の財務基盤は安定しており、定期的に予算・収支計画の執行状況を検証して適切な予算の執行が行われている。
10	学校運営	3.3	学校運営について必要な規定やシステムは整えているが、令和5年度に新規契約した弁護士、社会保険労務士と協議しつつ規定等の整備・改善を進めていく。また、財務については学校運営に強い公認会計士と契約し、適切な予算の執行を行っている。教務システムについては、機能を生かきれていない部分があるので運用法の改善を検討する。